

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024 年 9 月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は 2015 年平均を 100 として算出しています。

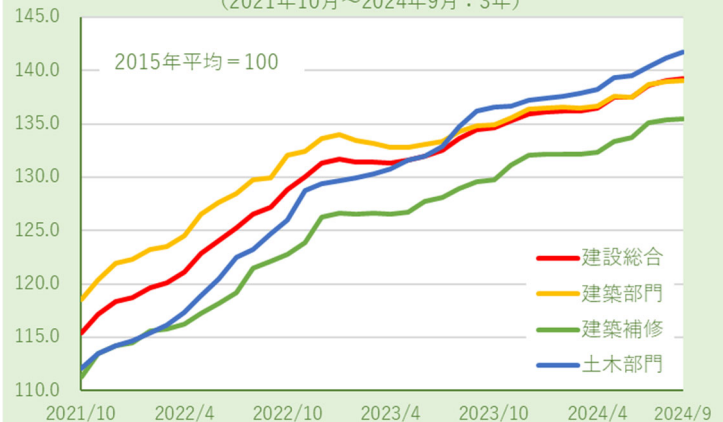
1. 指数の動向（全国平均）

9 月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が **139.2** となり、前月比+0.1%(+0.2 ポイント)と **17 カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+3.5%(+4.8 ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が **139.0** となり、前月比+0.0%(+0.0 ポイント)と **3 カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+3.1%(+4.2 ポイント)となった。**建築補修**は **135.5** となり、前月比+0.1%(+0.1 ポイント)と **6 カ月連続の上伸**となった。前年同月比では+4.6%(+5.9 ポイント)となった。**土木部門**は **141.7** となり、前月比+0.4%(+0.6 ポイント)と **2020 年 5 月以来 52 カ月連続の上伸**となり、**最高値を更新**した。前年同月比では+4.1%(+5.6 ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年10月～2024年9月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【金属製品】建設用金属製品

原材料費の高騰や輸送コストの増加を転嫁したメーカーの値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

【電気機械】その他の電気機械

樹脂などの原材料費や輸送コストの増加による価格上昇が指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【非鉄金属】その他の非鉄金属

銅の建値急落に伴い、需要家の値下げ要求が強まったことで製品価格が下落し、指数動向のマイナスに寄与

【鉄鋼】熱間圧延鋼材

需要低迷を背景に、販売店間の受注競争が激化した結果、製品価格が下落し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

金属製品、電気機械の価格上伸に加え、瓦などの窯業・土石製品や合成樹脂管などのその他の製造工業製品の価格上伸が指数動向のプラスに寄与した一方、銅製品や鉄鋼製品の下落の他に、合板などの紙・木製品の続落がマイナスに寄与した。

各都市の指数動向をみると、【札幌】(前月比+0.5%)では、砂利・碎石や舗装材料などの地場性の高い資材の価格上伸が指数動向のプラスに大きく寄与した。【広島】(同+0.2%)では、窯業・土石製品のうち、ヒューム管などのコンクリート製品の価格上伸が指数動向にプラス寄与する結果となった。【高松】(同+0.2%)でも、広島と同様に、U形側溝などのコンクリート製品の価格上伸が指数動向にプラス寄与する結果となった。

各地の建設総合部門の指数【9月分】

全国平均：139.2			新潟：135.9			札幌：140		
前月比	+0.1%		前月比	+0.1%		前月比	+0.5%	
前年同月比	+3.5%		前年同月比	+3.7%		前年同月比	+3.7%	
広島：137.2			大阪：142.9			仙台：134.8		
前月比	+0.2%		前月比	+0.1%		前月比	+0.1%	
前年同月比	+3.2%		前年同月比	+3.0%		前年同月比	+3.5%	
福岡：140.7			東京：138.9					
前月比	+0.1%		前月比	+0.1%				
前年同月比	+3.1%		前年同月比	+3.5%				
那覇：138.2			高松：145.9					
前月比	+0.1%		前月比	+0.2%				
前年同月比	+3.2%		前年同月比	+4.3%				
			名古屋：140.7					
			前月比	+0.1%				
			前年同月比	+4.3%				



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp